

# エコアクション 21

## 環境経営活動レポート

(2022年2月1日～2023年1月31日)

---

株式会社 ケイ・ワイ

代表取締役 広瀬 一樹

2023年4月20日

---



---

# 目次

1. 組織の概要
2. 対象範囲
3. 環境経営方針
4. 環境実施体制
5. 環境経営目標
6. 環境経営目標の達成状況の評価、並びに次年度の取り組み内容
7. 環境関連法規などの順守状況の確認及び評価の結果違反、訴訟等の有無
8. 代表者による全体評価と見直しの結果

## 1.組織の概要

【会社名】 株式会社 ケイ・ワイ  
【代表者】 代表取締役 広瀬 一樹  
【所在地】

本社登記	本社事務所
神奈川県横浜市保土ヶ谷区	神奈川県横浜市保土ヶ谷区
峰岡町 3-381-37	宮田町 3-320-4
	TEL 045-442-6416
	FAX 045-442-6417

【環境管理責任者】 広瀬 大輔

【事業の規模】 2022 年度（2021 年 10 月～2022 年 9 月）

売上高 502,611 千円

延床面積 本社事務所 54 m<sup>2</sup> 倉庫 50 m<sup>2</sup>

従業員数 14 名

【事業内容】 空気調和設備設計施工  
ダクト設備設計施工  
給排水衛生設備設計施工  
空調機器メンテナンス

【建設業許可】 管工事業 神奈川県知事許可（般-2）第 51439 号

【第一種フロン類充填回収業者】

神奈川県知事 神（気水）第 1-2303 号

東京都知事 登録番号 13106870

## 2.対象範囲

【認証・登録対象組織】

株式会社 ケイ・ワイ 本社 倉庫

【認証・登録対象活動】

空気調和設備設計施工 ダクト設備設計施工

給排水衛生設備設計施工 空調機器メンテナンス

### 3.環境経営方針

#### 基本理念

株式会社ケイ・ワイは事業活動の環境負荷を認識し、地域の豊かな自然を次世代に伝えます。そのために従業員一同は環境問題の基礎的知識を高め、循環型社会の構築と地球温暖化防止の活動に継続的に取り組みます。

#### 行動指針

1. 当社の事業活動による環境負荷削減を実行する為に、下記の行動指針を定め全従業員で取り組みます。

- ① 電力・化石燃料の節減による、二酸化炭素排出量の削減
- ② 節水による水使用量の削減
- ③ 廃棄物の発生抑制、削減、リサイクル促進
- ④ 地域の工事における環境配慮型工法の促進
- ⑤ 地域貢献活動の推進

2. 環境関連法規・条例・その他規制を遵守する。

3. 環境経営の活動は、継続的改善を実施します。

4. 全従業員にこの環境経営方針を周知します。

2022年2月25日

株式会社 ケイ・ワイ

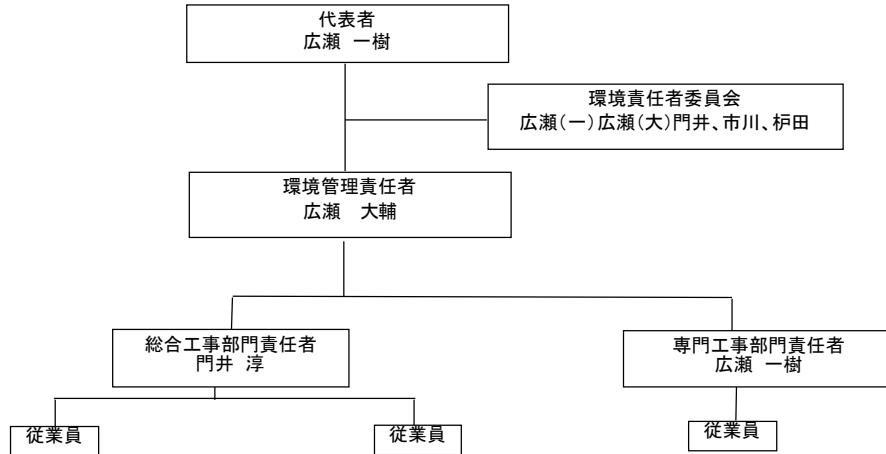
代表取締役 広瀬 一樹

## 4.環境実施体制

### 建設実施体制及び責任・権限表

作成 2021年09月14日

承認		作成
代表者		



	役割・責任・権限
代表者	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境責任委員会	1. 環境管理責任者の任命の助言 2. 環境方針の制定の助言 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備支援 4. 環境経営システムの定期的見直しの助言
環境管理責任者 (総務部門兼任)	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理
部門責任者	1. 自部門における環境経営システムの実施、環境方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 2. 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 3. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 自部門の特定された緊急事態への対応の手順書作成、テスト、訓練を実施し記録を作成 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 6. 建設現場の作業員への簡単な教育(騒音、振動、廃棄物、省エネ、省資源、緊急時対応)、指示 * 下請等の協力会社作業員含む
従業員	1. 環境方針を理解し、部門の環境活動計画に従って活動する。 2. 下請等の協力会社作業員も簡単な教育、指示に従って活動する。

(回覧ルート)

社長→全部門責任者、環境管理責任者

改訂履歴

改訂数	改訂理由	改訂月日	承認	作成者

## 5.環境経営目標

環境経営目標		単位	基準(実績)	目標	中期目標	
			2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
			2021年2月1日～ 2022年1月31日	2022年2月1日～ 2023年1月31日		
1 ・ 二 酸 化 炭 素 排 出	総CO2排出量	kg-CO <sub>2</sub>	89,540	87,394	87,394	85,607
	電力使用量	kwh	16,102	15,000	15,000	14,690
	ガソリン使用量	L	35,423	34,715	34,715	34,006
2 ・ 3 廃 棄 物	一般廃棄物総排出量	kg	87.75	87	87	87
	産業廃棄物総排出量	m3	88	87	120	130
	内再資源化量	m3	13.5	17.5	29	32
	再資源化率 (再資源化量/総排出量)	%	15%	20%	24%	25%
の4 削・ 減水	上下水道使用量	m3	23.00	24.00	23.00	23.00
5 出 抑 制 ・ フ ロ ン 排	回収対象台数	台	17	19	18.6	18.5
	回収量	kg	1392.9	1532	1685	1853
6 境 配 ・ 環 境 活 動	フロン再生施工の提案件数	回	10	30	45	72

注(1)購入電力のCO<sub>2</sub>排出係数:0.457kg-CO<sub>2</sub>/kWh

## 6. 環境経営目標の達成状況の評価、並びに次年度の取組み内容

### 環境経営目標/実績表

環境経営目標	単位	実績		運用期間実績		達成結果	評価及び次年度の取組み内容
		2021年度	2022年度	2021年度	2022年度		
		運用期間相当	運用期間実績	2021年2月	2022年2月		
		2021年2月	2022年2月	2021年2月	2022年2月		
		～2022年1月	～2023年1月	～2022年1月	～2023年1月		
1 ・ 2 排出 炭素	CO2排出量	kg-CO2	89,540	90,736	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未使用機器の電源OFF、こまめな室温設定などの省電施策を実施。かながわ再エネ共同オークションを申請中。</li> <li>・エコドライブの声掛けに取り組んだ。しかしながら社用車一台増加によりガソリン使用料増加。</li> </ul>	
	電力使用量	kwh	16,102	15,262	○		
	ガソリン使用量	L	35,423	36,104	×		
2 ・ 3 廃棄物	一般廃棄物総排出量	kg	91.00	85.00	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・混廃処理ではなく、分別廃棄により再資源化を図るよう社内で周知をしていたものの、再資源化率は前年同様。分別廃棄喚起の掲示が見づらいため、掲示方法を変更し意識改革を進めたい。</li> </ul>	
	産業廃棄物総排出量	m3	88.00	37.00	△		
	内再資源化量	m3	13.50	14.80	△		
	再資源化率	%	15.00%	40.00%	○		
の4 削・ 減水	水道使用量	m3	23	24.00	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して節水意識維持したい。次年度も引き続き取り組む。</li> </ul>	
5 抑制 フロン 排出	フロン機器回収台数	台	17	44	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当期は市内学校の機器回収多く回収台数増加したものの、大型機械の現場少なく量については減少。フロンに関する情報収集とHPやSNSを活用した情報発信を計画し周知を行う。</li> </ul>	
	フロン回収量	kg	1392.9	808.80	×		
配6 慮・ 活環境 動	フロン再生施工の提案件数	件数	10	10	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロン回収時に再生利用可能な際に声掛け実施。業者の選定が未着手、情報収集を進める。</li> </ul>	

注(1)購入電力のCO<sub>2</sub>排出係数:0.457kg-CO<sub>2</sub>/kWh

## 2022年度環境活動計画・実施状況評価

承認	作成

基準年度:2021年度 評価 ○:達成 ×:未達 □:計画 ■:実施

NO.	2022年目標	施策	責任者	2022年												2023	
				2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		
1.1	電力使用量の削減 (事務所) 16,102kWh 7%削減(→93%) 15,000kWh	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン管理(電源Off)の適正化</li> <li>・エアコン温度設定 使用時間最適化</li> <li>・利用頻度の低い機材の主電源off</li> </ul>	広瀬	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
				前年使用電気量	16,102	1,425	1,355	1,382	1,295	1,354	1,444	1,453	1,355	1,121	1,268	1,230	1,420
				本年使用電気量	15,262	1,465	1,281	1,091	1,034	1,219	1,563	1,583	1,452	965	1,190	1,159	1,260
				評価	○												
1.2	自動車燃料使用量の削減 35,423L 2%削減(→98%) 34,715L	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイドリングストップの実行</li> <li>・車輛別タイヤ空気圧管理</li> <li>・エコドライブの実施依頼</li> <li>中期施策</li> <li>・年式の古い車両の買い替え</li> </ul>	広瀬	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
				前年ガソリン使用料	35,423	2,762	2,892	2,722	3,264	2,854	3,137	3,133	2,589	3,106	2,903	3,042	3,019
				本年ガソリン使用料	36,104	2,770	2,924	2,820	2,687	3,568	3,105	3,087	3,376	3,123	2,625	3,197	2,822
				評価	○												
2	廃棄物排出量の削減 一般廃棄物 87.75kg 1%削減(→99%) 87kg	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物の分別</li> <li>・FAXの自動印刷制限</li> <li>・印刷物での営業書類受取辞退</li> <li>・不要紙裏面活用</li> </ul>	広瀬	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
				前年廃棄物量	91	8	6	8	6	9	6	9	6	9	8	8	8
				本年廃棄物量	85	8	6	8	5	7	6	8	6	8	8	7	8
				評価	○												
2	廃棄物排出量の削減 産業廃棄物総排出量 88kg 1%削減(→99%) 87kg	<ul style="list-style-type: none"> <li>・混廃の分別</li> <li>・材料発注時の精度向上</li> <li>・業者の選定</li> </ul>	門井	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
				前年廃棄物量	88	3	4	30	6.5	17.75	2	3	2	2	7.5	10	
				本年廃棄物量	37	0	5	0	3.5	8	0	9	1.5	2	0	5.5	2.5
				評価	○												
3	廃棄物排出量の削減 産業廃棄物の 内再資源化率 15% 5%増(→10%) 25%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別の細分化</li> <li>・分別の周知</li> </ul>	門井	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
				前年再資源化率	15%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	5%	15%
				本年再資源化率	40%	0%	40%	40%	41%	27%	27%	35%	38%	42%	42%	36%	40%
				評価	○												
4	水資源投入量の削減 (事務所) 23㎡ 現状維持 23㎡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元栓絞込み</li> <li>・配管水漏れチェック</li> </ul>	広瀬	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
				前年水道利用料	23	2.5	2.5	2.5	2.5	2	2	1.5	1.5	2.5	1.25	1.25	1.25
				本年水道利用料	24	2.5	2.5	2.5	2.5	2	2	1.5	1.5	2	2	1.25	1.25
				評価	○												
5	フロン排出抑制 1,393kg 20%増(→120%) 1,532kg	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロン取扱い厳罰化の周知</li> <li>・フロンによる温室効果周知</li> <li>・フロン再生業者選定</li> </ul>	広瀬	■	■	■	■	■	■	□	■	□	■	■	□	■	
				前年フロン回収量	1,393									61.9	1331	0	0
				本年フロン回収量	809	15.1	0	80.8	0	107	0	40.6	239.8	248.7	73.5	0	3.3
				評価	○												
6	環境配慮活動 10回 →30回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロン排出抑制法の周知</li> <li>・回収フロンの再生提案</li> </ul>	広瀬	□	■	□	■	□	■	□	□	■	□	□	■		
				前年提案件数	10	0	1	0	0	0	1	0	1	0	2	2	3
				本年提案件数	10	1	2	0	1	2	0	1	0	1	1	0	1
				評価	○												
NO.	評価・確認 月日	評価・確認事項(定期、臨時)															
1	2023/3/1																



## 7. 環境関連法規などの順守状況の確認及び評価の結果違反、訴訟等の有無

### 環境関連法規への対応

#### 環境関連本法等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

##### 1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守年月日(2022年1月15日) 遵守評価者( 広瀬 )
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物排出事業所との委託計画	契約(書)の締結	○契約書
	マニフェストの管理	管理	○
	マニフェストの期間内返却	90日以内または180日以内	○
	マニフェストの保管	5年間	○
	投棄禁止	不法投棄を行わない	○
	廃棄物の悪臭・飛散防止	車両荷台にシートを被せる等	○
	保管場所への掲示	60cm×60cm 以上掲示	○
	マニフェストの年間集計と知事報告	6月30日までに提出	○
建設リサイクル法	建設副産物のリサイクル	工事計画書・実績報告	対象工事無
一般廃棄物処理に関する条例	一般廃棄物の分別排出		○(分別状況)
騒音・振動規制法	特定作業規制	指定地域・時間帯規制	対象工事無
	地域住民との取り交わし		対象工事無
家電リサイクル法	指定家電の収集	テレビ・冷蔵庫 他	対象工事無
PCリサイクル法	OA機器の収集	パソコン・モニタ 他	対象工事無
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	○
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	○
グリーン購入法	環境物品の購入及び工事材量提案	事業者の一般的責務/工事計画書	○
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	○
建設業法	工事業者登録と更新及び技術士登録	登録と5年ごとの更新及び資格者登録	○(更新)
フロン排出抑制法 フロン排出抑制法2条、4条、18条の2	業務用エアコン簡易点検。冷蔵機器及び冷凍機を廃棄する場合、第1種フロン回収業者への引渡義務、廃棄に伴うフロン類の回収・破壊費用負担。	エアコン点検表の作成	○
大気汚染防止法 石綿障害予防規則	事前調査・作業計画・隔離作業等・作業届出	事前調査し対象であれば専門業者へ対応依頼	○
建築基準法、道路法、上下水道法、河川法	工事基準の遵守、各種申請手続きの適正処理		○

##### 2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、外部からの苦情、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

## 8.代表者による全体評価と見直しの結果

見直し実施日	2023年4月20日		
見直し対象期間	2022年2月～2023年1月		
代表者による全体評価	<p>小さい企業にすぎない弊社ですが、企業の大小に捉われず、できることからコツコツと継続し発展させていくことが今後の経営において重要であると考え、エコアクション21の取り組みを始めました。</p> <p>まだまだ、目標達成に向けて各従業員に程度の差がありますが、法規制の順守状況に問題なく、是正の必要な問題や外部からの苦情の発生もなく、環境経営システムは現在のところ、ほぼ有効に機能を始めています。</p>		
	目標項目	目標達成状況	実施状況の評価
	CO2排出量削減	×	不要電源OFF、適切な室温設定、エコドライブなどの周知により従業員全体の意識変革あり。車両一台増加したことでガソリン使用量増加したことで削減目標に対して未達となっています。
	廃棄物再資源化	○	混廃処理ではなく、分別廃棄による再資源化を図るよう取り組み始め、再資源化率改善。分別廃棄喚起の掲示をすることで次年度も引き続き取り組む。
	水使用量削減	×	継続して節水意識維持したい。次年度も引き続き取り組む。
	フロン排出抑制	×	前年に市内学校の改修多く回収量は減少しているものの、フロン回収に関わる現場数は増加している。HPやSNSを活用しフロンに関する情報発信をすることでフロン回収についての関心を醸成し取扱量を増やしたい。
	環境配慮活動	○	フロン回収時に再生利用可能な際に声掛け実施。管理者のフロン再生に対する意識変革を次年度も引き続き取り組む。
見直しの指示	見直し項目	変更の必要性の有無	
	環境経営方針	有	(無)
	環境経営目標及び環境活動計画	有	(無)
	環境経営システム(実施体制を含む)	有	(無)

株式会社 ケイ・ワイ

代表取締役 広瀬 一樹